

## 富士スカウト章に挑戦して



荒川第2団ベンチャー隊 大野 友輔

ベンチャースカウトになって初めてのプロジェクトで北アルプスの槍ヶ岳に登り、それを通じて山に登る面白さを知りました。その面白さを皆にも伝えたいという思いから今回のプロジェクトを企画しました。内容は事前の登山レクチャーを含めた山岳移動キャンプの実施です。

私はこのプロジェクトを通じて、人に教えることの難しさと楽しさを学びました。本格的な登山が初めての人に対してレクチャーをするにあたり、どうすれば相手に自分の伝えたいことをきちんと伝えることが出来るかを常に考えていました。始めはこちらが一方的に語る形式で実施したのですが、これは失敗でした。集中力が切れたのか、寝てしまう参加者が何人かいました。これでは山の面白さどころか、知っておくべき山の危険すら伝えることが出来ないと思い、レクチャーの方法を見直しました。そしてその後の2回のレクチャーでは、実際の山の装備を見せて説明したり、バックキングの練習やリュックの背負い方を実践し、より本番をイメージできるようにしました。それにより参加者たちも集中して話を聞いてくれているようでした。一度はうまくいかず、難しいと思うようなことでも、少しやり方を工夫することで良い方向に進み、むしろ楽しむことができるということを実感しました。

富士章に挑戦した1年は受験生としての1年でもあり、2つを両立することは容易ではありませんでした。途中、富士章挑戦をあきらめ、受験に専念した方がいいのではと考えたこともありました。しかし、忙しい合間を縫ってレポートを見てくださったり、アドバイスをくださった隊長をはじめとするリーダー方の全面的なバックアップのおかげで挑戦し続けることが出来ました。つらいことから逃げず、周りの力も借りながら一つの事をやり遂げたことは、私自身を大きく成長させるとも貴重な経験だったと思います。

最後に、今回ボーイスカウトの最高章である富士章を取得することができ、うれしい気持であると同時に、取得に向けて尽力して下さった隊長をはじめとするリーダー方、団委員長さんたち、などなどここにあげることができないほど多くの方々に感謝の気持ちでいっぱいです。富士プロジェクトとしておこなったのは個人プロジェクトではありませんが、皆さんの協力なしに成功させることはできなかったと思います。このことを忘れずに、今後はその恩返しの気持ちと共に活動を続けていきたいと思っています。また、今回のプロジェクトを通して、私はさらに山が好きになり、自分の登山の技術と知識もパワーアップすることが出来ました。この貴重な経験を糧に、今後も自分の趣味として登山を続けていきたいと思っています。

## 富士スカウト章に挑戦して



荒川第2団ベンチャー隊 田村 朋也

私が富士スカウト章を取得できたのは、熱心に指導してくれたリーダーたちと、長い間応援してくれていた両親のおかげだと思います。

私はラグビー部に所属していて、ボーイスカウト特に富士取得までの両立がとても大変で、一度部活も富士も諦めようかと悩んだ時期がありました。

その時、隊長が“活動の時最近笑顔が見れないけどどうした”“今の現状”“今後どうしたい”と聞いてくれて、もう少しがんばろうと思えて挑戦しました。

日々の活動の積み重ねも大切なことですが、私は特に周りの人のサポートが一番助けになりました。

富士と一緒に挑戦、取得した大野、部活・ボーイスカウトの両方を応援してくれた両親、指導・相談色々な事を私に教えてくれたリーダーたち。

この存在がなければ、取得するまでいけなかったのではないかと思います。

「おきて」の8番 スカウトは感謝の心を持つ とありますが、今回の富士挑戦ですごく実感今でも感謝しています。

富士挑戦で一番楽しかったのは、富士プロジェクトで行った、北徳高山に登頂することです。

ボーイスカウトを始めてから登山が好きになったが、3000mを超えた山に登り切ったときの感動は今まで味わったことがありません。

景色は雲が自分が立っているところより低いところがあり、なぜか叫びたくなるような、すごく気持ちがよかったことは鮮明に覚えています。

これを機にもっと色々な山に挑戦したいと考えているくらいです。

富士章を取得したことにより、いい意味でプレッシャーがかかりました。

“富士”という重いものを背負い活動するに当たり、手本、目指される立場になり気を抜くことができず、常に見られる事になります。

ですが、このプレッシャーを悪く受け止めず、もっといい評価をされるよう、「さすが富士章だ」と言われるように活動することで、プレッシャーに負けることもなく楽しく活動できます。

今後は、上記の通り「さすが富士スカウトだ」と言われるよう、地区の活動に出て恥ずかしくないように、今後も成長していき、富士としての私を磨いていきたいです。

最後に、荒川第2団の皆さん、父さん母さん、富士章に挑戦させてくれてありがとうございました。

これからも頑張って活動していきます。

## 富士スカウト章に挑戦して



足立第5団ベンチャー隊 佐川 玲王

私は富士スカウト章を取り、身体的・精神的に大きく成長しました。今回のプロジェクトで行ったことは自転車を使っただけの体力強化、その成果として関東一周 800 km を6泊7日でキャンプをしました。数年前にスポーツタイプの自転車を買った、よく友達と海に出かけたりしました。それから段々と自転車の虜になってしまい、趣味となり、ボーイスカウトの活動でも自転車を取り入れたいと思いました。初めて活動で自転車を使ったのは隼章の探検旅行です。そこでは東京湾一周 200 km を2泊3日で行いました。二人でお互いに安全を確認しながら無事走り切りました。そして、それを皮切りにして段々と遠くに行きたくてキャンプをしたいと思い始め、どこに行きたいかを考えたら東京湾のもう1レベル高い関東一周という目標にたどり着きました。このような動機があり、プロジェクトの内容は順調に組み上がり、リーダー達にも助けられてトントン拍子で準備期間を進められ、万全の状態での出発することができました。

やっけていく中で沢山のトラブルが発生しました。初めに起きたのは、2日目に台風5号が最接近してプロジェクト中止になりました。その時はリーダーと連絡を密に取り、これからどのように行動するか話し合いました。最悪そこでもう一泊滞在することも考えていましたが、しだいに天候が回復してきたので、予定通りに進められました。次に起きたトラブルは、自転車のパーツを落としたことです。いつそれを落としたかがわからないまま走り続けてついに、自転車が故障する事態になりました。修理は持っていた道具ですぐ直せたのですが、何キロか走るとまた故障するという状況でした。無くした部品は店にはなかなか置いていませんでした。ですが、宇都宮の自転車屋に行って状況を話したらなんと、店員さんの自転車からその部品を取りはずして譲ってくれました。このようなアクシデントがあり不安になることが沢山ありましたが、出会った人たちに応援の声をもらい、勇気が出たことがとても印象深かったです。自分が思っているより温かい人が沢山いるんだと感じました。わたしはこのキャンプ中は沢山の親切にしてもらい、私もそのような人のように、知らない人でも優しく接してあげたいと思い始めました。そうしてプロジェクトは成功を収め、私は一段階大人になって帰ってきたと思います。

ベンチャースカウトの中で富士スカウト章は1つのゴールですが、ボーイスカウト活動のゴールはないと思います。PDCA(※1) サイクルで活動し、それを次の活動に繋げていき、仲間と共に成長していくことが、ボーイスカウト活動だと思います。何歳になっても、終わりはありません。富士スカウト章を取った今、これからは富士スカウト章を取る機会をくれた隊長をはじめとするリーダーや足立5団の仲間のため、また、子供の頃からボーイスカウトに連れて行ってくれた親の為にもこれからもボーイスカウトを続けて行きます。そうして私はローバーになっても自分が思う最大限のボーイスカウト活動をやっていきたくです。

注1 PDCA とは、P: Plan(企画・計画)、D: Do(実施・展開)  
C: Check(評価)、A: Action(反省)

## 富士スカウト章に挑戦して



足立第5団ベンチャー隊 大林 佑哉

私が富士スカウト章を目指したきっかけは、些細なことでした。菊スカウト章のお祝いの場で一言感想を求められたときに、「富士スカウト章をとるため頑張ります。」と言った事がきっかけでした。その時は本気ではなかったのですが、ベンチャースカウトに上進した後に、何か目標を立てて、それを目指して頑張ろうと思い、富士スカウト章を目指すようになりました。

富士スカウト章を目指す課程の中で、一番記憶に残っている事は、宗教章を取るための学習をしている時の、神父さまとの話し合いです。「普段、生活している中で宗教を意識したことはありますか」と聞かれた時に、すぐには思い付きませんでした。ですが、「意識はしていなくても仏壇に線香をあげたり、お地蔵様を見つけたらなにげなく頭を下げたりしていたら、それは無意識のうちに宗教というものを頭に思い浮かべているということです。」と言われたことが印象に残っていて、それ以来、宗教に対して意識するようになりました。

また、一番苦労した点は、プロジェクトのテーマ決めでした。自分の興味のあること、且つ調査研究が行いやすいものと考えた時、すぐに思いつくものはありませんでした。私は戦史・軍事研究や政治研究が好きなのですが、初めはそのようなテーマでは結論がでず、まとめるのが難しいと言われました。そのため隊長に相談しながら様々なテーマを考えました。ちょうどそのころは、ニュースで北朝鮮の弾道ミサイルの話題でもちきりだったため、タイムリーな事柄であった「ミサイル防衛」についてプロジェクトを行うと決定しました。プロジェクトテーマが決定したら、後はとんとん拍子で計画を作成し、プロジェクトに打ち込みました。

プロジェクトを行っていく中で、隊長から実際のモノを見た方が、興味もわくし、やる気も出てくると言われたので、夏休みを利用して横須賀で、実物の迎撃ミサイル(PAC-3)を見学しました。やはり、実物を見た方がその後の文章などを読んでいく時に、イメージしやすく、調査も捗りました。

今回の富士スカウト章のプロジェクトを通して、自分の身についたと感じた事は、継続力です。プロジェクトを行っていくうちに、それまで自分が苦手としていた一つの事に打ち込むという事に、あまり拒否感を感じなくなっていたことに気づきました。また、プロジェクトを効率よく行うための計画力も身につける事が出来ました。

富士スカウト章は、自分一人では、到底獲得することはできなかったと思います。今、自分が富士スカウト章を獲得することが出来たのは、隊長や家族をはじめ、様々な方々の協力のおかげでここまで来ることが出来ました。とても感謝しております。

また、これから富士スカウト章を目指すスカウトも、目指さないスカウトも何事にも努力し、周りの人たちと協力すれば、それは良い経験となるので、これからも頑張っていってほしいと思います。

富士スカウト章は、『ベンチャースカウト活動の目標を達成し、社会の一員としての自律と責任、公共心を備えた、より良き公民となれるスカウト』と認められた富士スカウトに授与される章である。この章はベンチャー章、隼スカウト章と同様にベンチャースカウト年代において授与される章であるが、ベンチャースカウト年代だけでなく全年代における『スカウトとしての、進歩課程としての到達点』である。

## 第8回さくら地区ボーイスカウトラリー

実行委員長 荒川第2団 ボーイ隊長 若山 真一

2018年2月4日、荒川区の汐入公園に於いて、スカウト72名・指導者43名の参加により、今年のボーイスカウトラリーが開催されました。

私が実行委員長に決まった時、荒川区内でどのようなラリーにするかボンヤリとは考えていたものの、今回のような一つの公園内でのラリーは頭に浮かんでいませんでした。

他の区から立候補・推薦されて決まった仲間の実行委員の隊長たちと、多くの時間を使い、アイディアを出し合い少しずつ今回のラリーの概要が決まって行きましたが、円卓会で他の指導者たちからの意見を聞くと迷いが出て内容の変更を考えたり、やはりこのまま貫こうと思ったりと、実行委員長としての決定は思っていたより難しいものだと感じました。

それでも私よりも多くの経験をしている実行委員の隊長達を信じ、スカウトが喜び、夢中になってラリーに取り組んでくれる様なものにする為に意見を出し、話し合いを重ねて一つずつ決めていきました。

そして、今回のラリーは汐入公園に設けた6ヶ所「ロープ・計測・ソング・読図・キムス・手旗」の各ポイントを、3班もしくは4班が同時に対決しながら決められた時間内に移動して回るというラリーに決定しました。

過去のラリーでは区内に広範囲でポイントを設定し、読図をして歩くというラリーが基本でしたが、時間内に回れないポイントがあったり、他の班がどのように回っているのかを目にする事が出来なかったりという事もあったので、全参加班がすべてのポイントを回れて、他の班と一緒にポイント課題に挑戦できるという事にこだわってみました。

また、今夏は日本ジャンボリーもあるので、他の班と競い合う事で、さくら地区の仲間同士の交流を少しでも深められたら良いと考えました。他にも指導者の顔やキャラクターを覚えて貰えるように、ラリー前には「隊長クイズ」を行い、各団から指導者が簡単なO×クイズをやったり、ラリー後には全体ゲームとして「シッポ取り」で白熱し、多いに盛り上がりました。

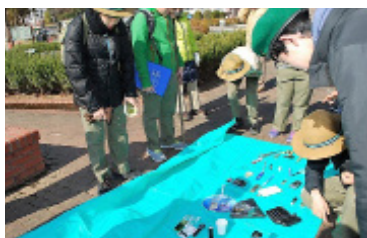
閉会式後には仲間から「委員長お疲れさま」と声を掛けて貰い、何事も無く、無事に開催出来て良かったとほっとしました。

このラリーでの評価、反省は後日円卓等で伺い、今後の活動にも活かせればと思います。実行委員の仲間たち、このラリーに関わったすべての皆様に感謝します。ありがとうございました。

## 平成29年度「進級のつどい」開催

2018年3月18日、明和学園に於いて、進歩委員会主催による「進級のつどい」が開催されました。

地区役員・スカウトクラブの皆様のご出席を戴き、当日出席の富士スカウト3名、菊スカウト11名の各章受章を祝い、又、スカウトクラブより記念品も贈呈され、楽しい一時となりました。



## 富士・準章取得おめでとう！

### 富士スカウスト章

日連認証No.	東連認証日	氏名	所属団
3570	2017年11月24日	大野 友輔	荒川第2団
3571	2017年11月24日	田村 朋也	荒川第2団
3605	2017年12月23日	佐川 玲王	足立第5団
3606	2017年12月23日	大林 佑哉	足立第5団

### 準章 (29年度認証日順)

大林 佑哉 (足5)・佐川 玲王 (足5)・小関 睦堯 (文5)  
永井 智 (台7)・木村 朱里 (足5)・梅津 七輝 (文5)

## 菊章取得おめでとう！

### 菊章

東連認証No.	東連認証日	氏名	所属団
11721	2017年6月19日	高橋 寛	足立第8団
11754	2017年10月16日	酒井 大輔	台東第4団
11755	2017年10月16日	鈴木 利康	足立第5団
11756	2017年10月16日	富田 健夫	足立第5団
11782	2017年11月20日	山口 祥太	足立第4団
11783	2017年11月20日	河野 勇海	足立第4団
11805	2017年12月18日	伊藤 優	文京第5団
11806	2017年12月18日	秋下 元希	文京第5団
11807	2017年12月18日	赤瀬 駿一	文京第5団
11808	2017年12月18日	南平 宏喜	文京第5団
11809	2017年12月18日	弘世 俊太郎	文京第5団
11835	2018年2月19日	石田 創督	台東第7団
11836	2018年2月19日	塩入 帝馬	台東第7団
11866	2018年3月19日	白倉 丈路	台東第7団
11867	2018年3月19日	箭内 尚輝	文京第3団
11868	2018年3月19日	野澤 優斗	足立第5団
11869	2018年3月19日	五十嵐 万莉	文京第3団
11870	2018年3月19日	伊藤 なお	文京第1団
11871	2018年3月19日	長谷川 智之	文京第3団
11872	2018年3月19日	田村 政宗	足立第5団
11873	2018年3月19日	石川 翔大	足立第5団

## 技能章認証者

### 野営管理章

田村 朋也・大野 友輔(荒2)、茂木 麗奈(足8)

### 救急章

伊藤 なお・宮下 真尋(文1)、箭内 尚輝・五十嵐 有紗・五十嵐 悠貴(文3)、赤瀬 駿一・三條 光貞・安居 知哉(文5)、塩入 帝馬(台7)、佐藤 大斗(荒6)、山口 祥太(足4)、鈴木 利康・富田 健夫・石川 翔大・田村 政宗(足5)、茂木 麗奈(足8)

### 炊事章

小関 睦堯(文5)、塩入 帝馬・石田 創督(台7)

### 武道・武術章

河野 勇海(足4)、甲斐 大和(足8)

### 木工章

長谷川 智之・五十嵐 万莉(文3)、小関 嵩堯(文5)、石田 創督(台7)、平岩 雄之助・河野 勇海・山口 祥太(足4)、佐川 玲王・大林 佑哉(足5)

### 水泳章

五十嵐 悠貴・斉藤 豊・五十嵐 万莉・長谷川 智之・箭内 尚輝(文3)、赤坂 陽(文5)、酒井 大輔(台4)、石田 創督(台7)

### 写真章

箭内 尚輝(文3)、小関 嵩堯(文5)、関田 晃仁・永井 智・小林 多希人(台7)、佐川 玲王(足5)、茂木 麗奈(足8)

### 測候章

五十嵐 万莉・五十嵐 有紗(文3)、塩入 帝馬・石田 創督(台7)

### ハイキング章

山口 祥太・河野 勇海(足4)

### 野外炊事章

山口 祥太・河野 勇海(足4)

### 野営章

小関 睦堯(文5) 佐川 玲王(足5) 五十嵐 有紗(文3)

### 自転車章

### 測量章

### 鳥類保護章

五十嵐 有紗(文3)、石田 創督(台7)

## 研修・講習ごくろうさま

### 2017年秋 研修所・実修所

ウッドバッジ研修所スカウトコース 東京第3期

所長：真山 明夫 場所：東京連盟 日向野営場  
日時：平成29年9月15日(金)～9月18日(月)  
沖田 篤史(文1)・白木 由香里(文3)・藤田 敬・大前 健一郎(文5)

ウッドバッジ研修所スカウトコース 東京第4期

所長：中村 淳 場所：東京連盟 日向野営場  
日時：平成29年10月6日(金)～10月9日(月)  
加藤 裕太(文5)

ウッドバッジ研修所課程別研修ボ-イ-スカウト課程 東京第2回

主任講師：小室 礼子 場所：日本連盟スカウト会館  
日時：平成29年10月2日(日)  
沖田 篤史(文1)

ウッドバッジ研修所課程別研修ガ-ルスカウト課程 東京第2回

主任講師：庄司 昌史 場所：正定寺 明和会館  
日時：平成29年10月22日(日)  
白木 由香里(文3)、藤田 敬・大前 健一郎(文5)

ウッドバッジ研修所課程別研修ボ-イ-スカウト課程 東京第2回

主任講師：黒川 泰一 場所：文京区アカデミー茗台  
日時：平成29年10月29日(日)  
加藤 裕太(文5)

第263回ボーイスカウト講習会

主任講師：井沢 啓一 場所：三河島カトリック教会  
日時：平成29年11月26日(日)

玉井 碧(文3)、大森 康正・池上 隆司・赤石澤 広頭(文5)  
浅田 彩(文6)、小嶺 智子(台1)、上村 麻美・伊香 一江(台2)、畑田 杉重・野田 雅子・佐藤 公一(台3)、安保 孝亮・横澤 こむぎ(台4)、穴澤 孝樹(荒2)、越智 康博・加藤 静徳(荒6)、西岡 綾子(足3)、嵯峨 嶺(足8)、五十嵐 翔・松村 優・小田倉 巧祐・木戸口 駿・大木 康弘・鴻巣 真央(足14)

### 心の教育研修会修了者

主任講師：長谷川 裕二 場所：清光寺  
日時：平成29年12月9日(土)

矢野 敏子・内田 陽祐・中村 武史(文3)、池田 治恵・今井 一美・大波 仁美(台1)、原 俊子・小山 泰洋・大瀧 智広(台2)、穴澤 靖(荒2)、入澤 靖幸(足4)

### スカウトソング研修会修了者

主任講師：原田 靖子 場所：正定寺 明和会館  
日時：平成30年1月21日(日)

箭内 昭一・五十嵐 由香(文3)、清水 那津子(文5)、瀧田 明・原 俊子・齋藤 美佐子(台2)、小関 貴史(台4)、榎本 小百合・菊澤 幸男・松永 まさ子・中村 卓司・田崎 淳・小関 佳代子(荒6)、永井 恵美子・永井 敏(足5)

## 編集後記

年に2回の広報誌「さくら」の発行を通じ、さくら地区の歴史と共に過ごした8年が終わろうとしています。

至らぬ点多々あったかと思いますが、多くの皆様のお力添えの元、広報委員会一丸となって頑張っておりました。

そして、広報委員活動を通じてスカウト達の成長する姿を見守ることが出来、今更ながらに幸せを感じております。(越村)

※さくら地区ホームページ

<http://www.sakura-scout.net/>